

使用製品

歯 - 根管ポスト - 酸化ジルコニウム - Multilink Automix

マルチリンク オートミックス

幅広い症例に対応する化学重合ベースのデュアルキュア型接着性レジンセメントです。



オプトラダム

治療部位を防湿するための3Dラバーダムです。



トータルエッチ

37%リン酸エッチング材です。流れにくいジェルで、塗布した箇所にしっかり留まります。



モノボンドプラス

どの修復物表面にも使用できるユニバーサルタイプのプライマーです。



MultiCore (日本未導入)

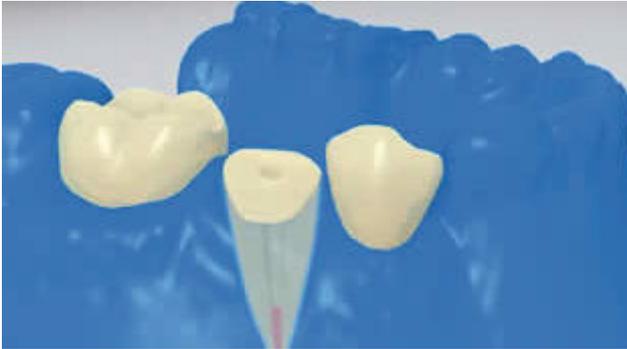
Core build-up in vital and non-vital teeth.



フローチャート Multilink Automix

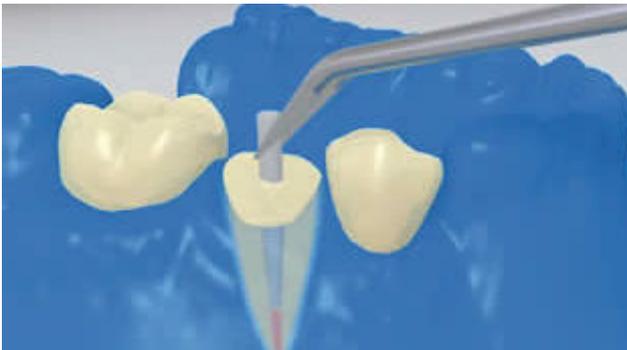
歯 - 根管ポスト - 酸化ジルコニウム - Multilink Automix

1 装着前



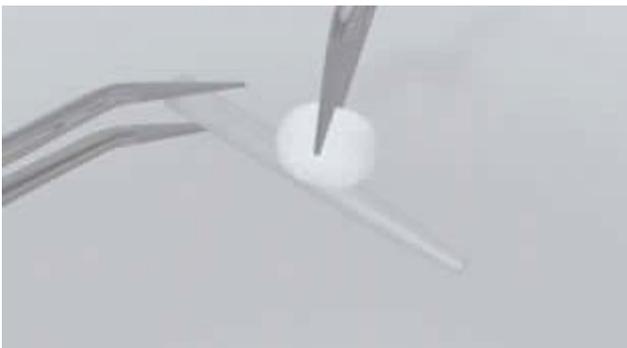
治療部位の防湿は必要不可欠です。オプトラダムで行うか、防湿用パッドあるいは排唾管を使用し簡易的に行います。

2 ポストの試適

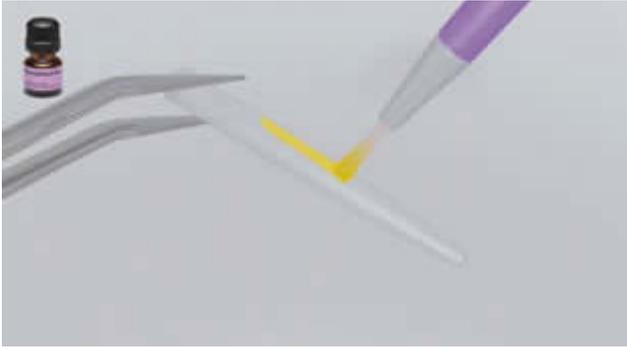


ポストを試適します。ポストが長い場合、回転切削器具を使用し、口腔外で調節します。

3 ポストの前処理

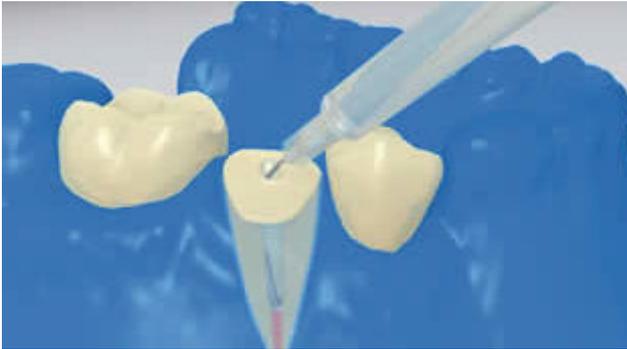


試適後、ポストをアルコールあるいはメーカーの指示に従い洗浄します。



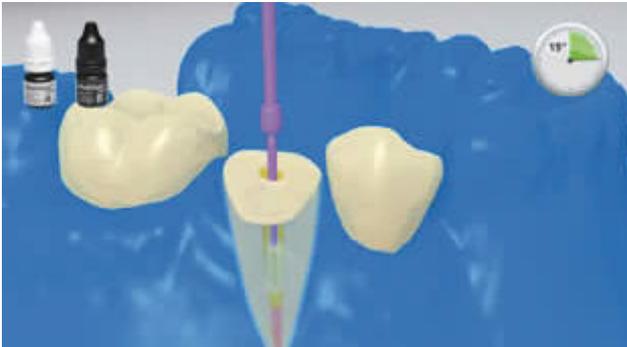
モノボンドプラスをブラシあるいはマイクロブラシで塗布します。60秒間反応させ、その後、強圧のエアで余剰を拡散します。

4 根管の消毒

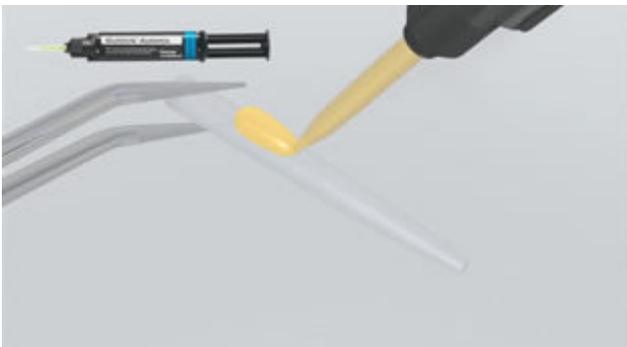


最後に、処理した根管を消毒し、ペーパーポイントで乾燥します。

5 マルチリンク プライマーA+Bとマルチリンク オートミックスの塗布

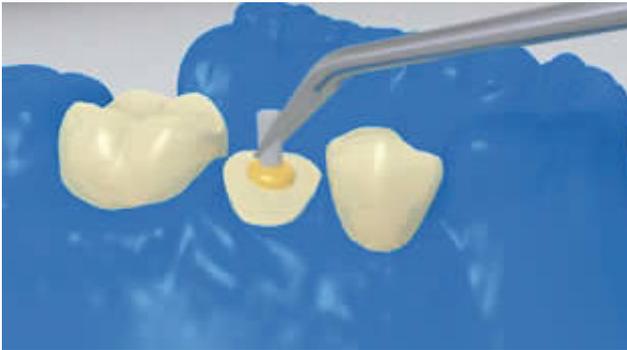


混和したマルチリンク プライマー **A+B**を支台歯の根管内と接着歯面に適したマイクロブラシで15秒間塗布します。余剰のボンディング材は、ペーパーポイントとエアで除去します。



メーカーの指示に従い処理した根管ポストに、マルチリンク オートミックス を塗布します。

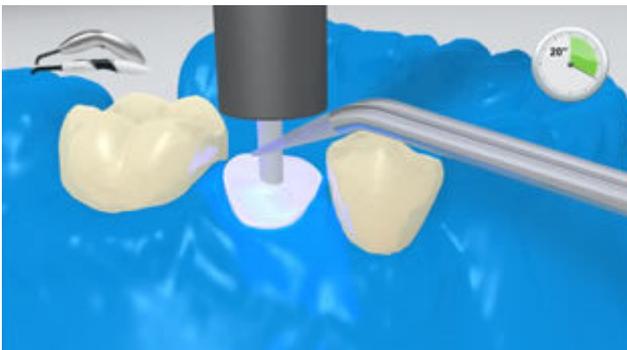
6 ポストの装着



ポストを挿入し、余剰セメントを押し出します。

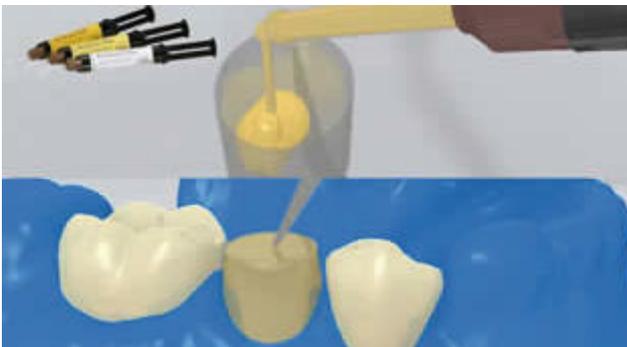


セメントで支台歯全体を覆うようにします。その後、マルチリンク オートミックスを20秒間光照射します。この間、光重合しポストを適切な位置で支持します。



オペーク色の材料、つまり不透性材料には化学重合による硬化をお勧めします。マルチリンク オートミックスは、支台築造材への接着材として作用します。

7 支台築造



支台築造材 (**MultiCore Flow (日本未導入)** 等) をコーピングに充填します。その後、マルチリンク オートミックスを直接、築造材に塗布し、コーピングを形成面に装着します。

支台築造材をその材料メーカーの指示に従い重合します。

8 フェルールの状態により築造したコアを形成します



コーピングをはずし、築造されたコアをフェルール形態を考慮して形成します。